

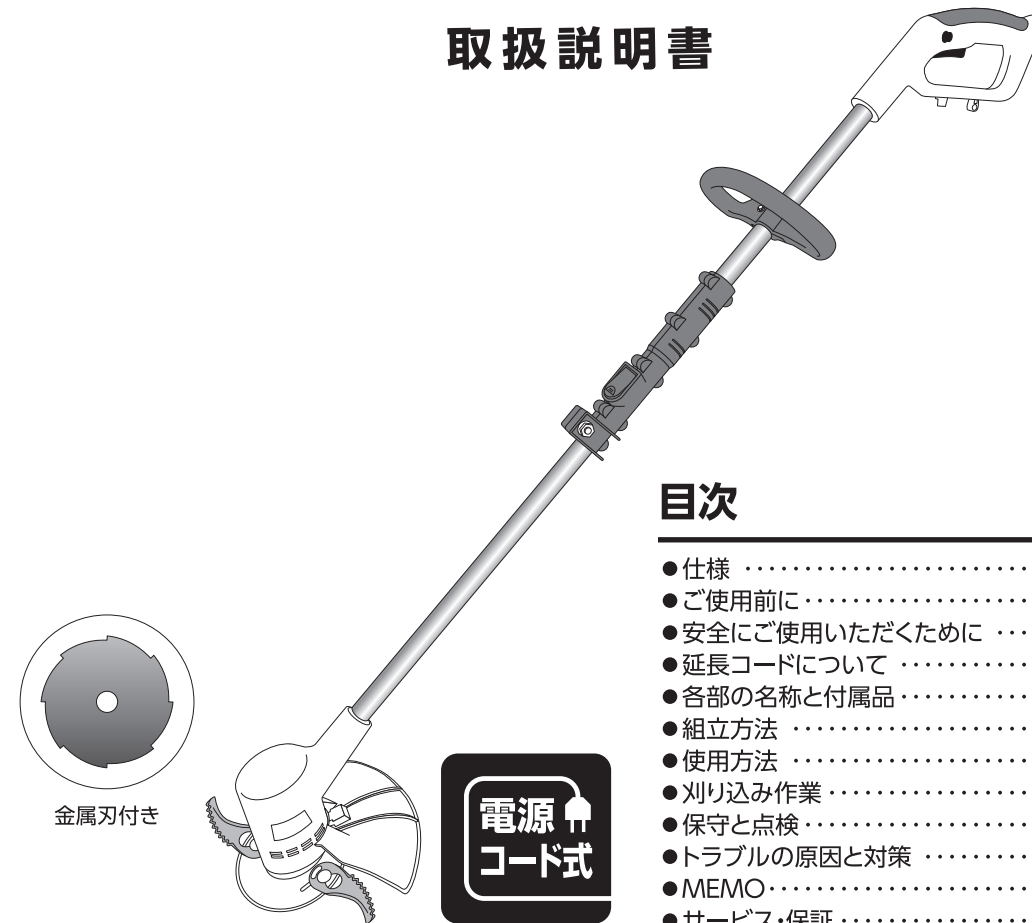


SBC-250JB

# 草刈機

家庭用

## 取扱説明書



金属刃付き

電源コード式

### 目次

- 仕様 ..... 1
- ご使用前に ..... 1
- 安全にご使用いただくために ..... 1~2
- 延長コードについて ..... 2
- 各部の名称と付属品 ..... 3
- 組立方法 ..... 4~9
- 使用方法 ..... 9
- 刈り込み作業 ..... 10
- 保守と点検 ..... 11
- トラブルの原因と対策 ..... 11
- MEMO ..... 12~14
- サービス・保証 ..... 15

### お客様へ

- 本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。
- 本製品は草刈機です。それ以外の用途には使用しないでください。



二重絶縁

二重絶縁とは、電気回路と使用者が触れる外観部品との間が、異なる絶縁物で絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース接地する必要がありません。



警告

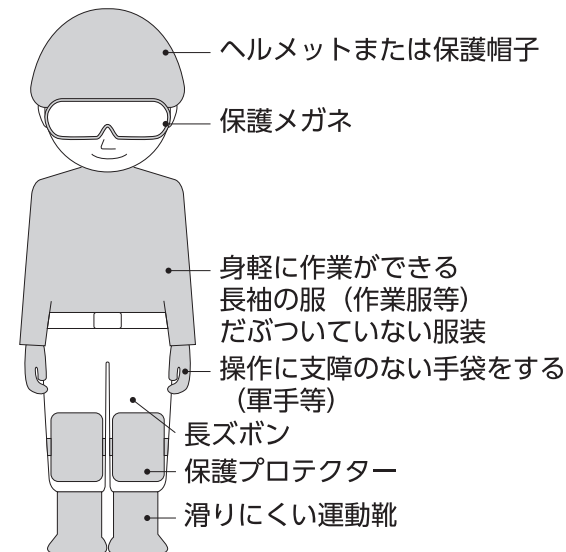
**安全のため 必ず この取扱説明書をよくお読みください。**

本機の使用方法を誤りますと、ケガをするなど大変危険です。

定格時間30分とは

「気温が20℃の時に、連続して30分程度の使用が可能」という意味です。定格時間内であっても、外気温が高かったり、断続的でも長時間の作業をされる場合はモーターが熱を持つ前に作業を中断し、本機を休ませるようにしてください。

仕様		
型番		SBC-250JB
電圧		AC100V 50/60Hz
消費電力		250W
電流		2.5A
定格時間		30分
無負荷回転数	鋸爪ブレード	約6,000min <sup>-1</sup>
	金属刃	約5,800min <sup>-1</sup>
絶縁構造		回二重絶縁
カッター取付穴径(mm)		φ25.4
本体寸法(mm)		約W210×D1,310×H225
本体重量		約1.9kg
刈込幅	鋸爪ブレード	約210mm
	金属刃	約160mm



右図のような動きやすい服装で作業をおこなってください。

## ご使用前に

この度はYAMAZEN草刈機「SBC-250JB」をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、警告事項・注意事項を厳守して、安全に正しくご使用ください。またお読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保管しておいてください。

## 安全にご使用いただくために

**警告** 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負ったり、重大な物的損害事故の可能性が想定される内容を示します。

※金属刃、鋸爪カッターを本書ではブレード(刃)と表記することがあります。

- 輸送途中の衝撃等の理由で部品や金具が緩んだり破損する事があります。使用前に必ず各部を確認してください。緩んだ状態や破損したままご使用になりますと、思わぬ事故の原因となります。異常が見つかった場合、お買い求めの販売店か商品問い合わせ先までご相談ください。
- ご使用の前に電源コード、電源プラグを点検してください。電源コード、電源プラグが傷んだままご使用になりますと、火傷、感電、火災などのおそれがあり大変危険です。
- 作業者は長袖、長ズボン、滑りにくい運動靴、保護メガネ、ヘルメット又は帽子、プロテクター、手袋等を必ず身に付けてください。処理物が飛散した時など、思わぬ事故の原因となります。
- 安全カバーは必ず取り付けてご使用ください。取り付けないと、作業中に処理物や小石などが飛散して思わぬ事故の原因となります。
- 電源は銘板に記載されている電圧でご使用ください。(本機は100V専用です)
- 作業前にブレード(刃)、安全カバーに欠けや割れが無いか確認してください。
- 作業前に作業をする場所の小石、空き缶、金属片等を取り除いてください。ブレード(刃)に当たると飛散し、事故、ケガの原因となります。
- 作業場に電線などが無い事を確認してください。電線などがあるとブレード(刃)で切断のおそれがあり、感電や火災、漏電の事故の原因となります。

- 雨の中や雨上がり、散水直後の刈り込みはしないでください。感電や漏電のおそれがあり大変危険です。
- 揮発性可燃物(シンナー、ガソリン等)の近くでは絶対に使用しないでください。可燃物の近くで使用しますと、引火、爆発の危険があります。
- 作業中は、本機のハンドル、ループハンドルをしっかりと握ってください。しっかりと握っていないと作業中に本機が振れて事故の原因となります。
- お子様やご使用方法がわからない方には絶対にご使用させないでください。
- お子様や作業員以外の人を作業場15m以内に近づけないでください。作業時に飛散した石ころや異物でケガをするおそれがあります。
- 運転中は絶対に回転部に手や足等を近づけないでください。
- 次の作業の時は、必ず電源プラグを抜いてから作業してください。
  - ・回転部の異物を取り除くとき。
  - ・回転部に直接触れる時。(ブレード(刃)の交換等)
  - ・調整、点検を行う時。
  - ・本機を持ち運ぶ時。
  - ・本機を使用しない時、保管する時。
- 本機が熱くなったり、異常が感じられた場合は、ただちに使用をやめてお買い求めの販売店、又は商品問い合わせ先までご連絡ください。
- お客様ご自身の修理、改造は絶対にしないでください。重大な事故の原因となります。

**注意** 誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。取り付けが確実でないと外れたり、事故の原因となります。
- 本機は大事にご使用ください。誤って落としたり、ぶつけた場合は異常の有無を確認してください。
- 電源コードを持って、電源コンセントからプラグを抜かないでください。火災やショートの原因となって大変危険です。
- 本機を保管する時は、お子様の手の届かない場所に安全な状態で保管してください。湿度の高いところ、雨のかかるところ、直射日光のあたる場所には保管しないでください。
- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。
- 注意に表記してある場合でも状況によっては、死亡、重症等の重大な事故につながるおそれがありますので、必ず守ってください。

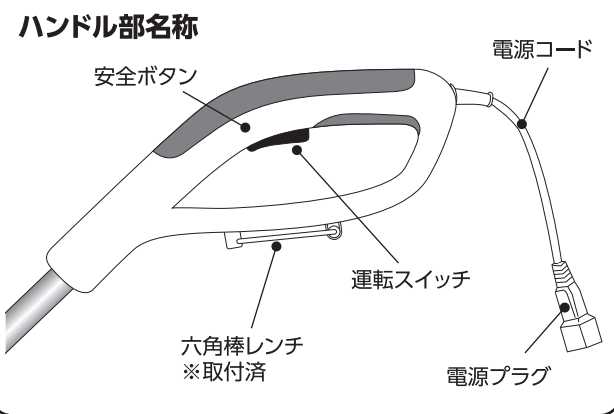
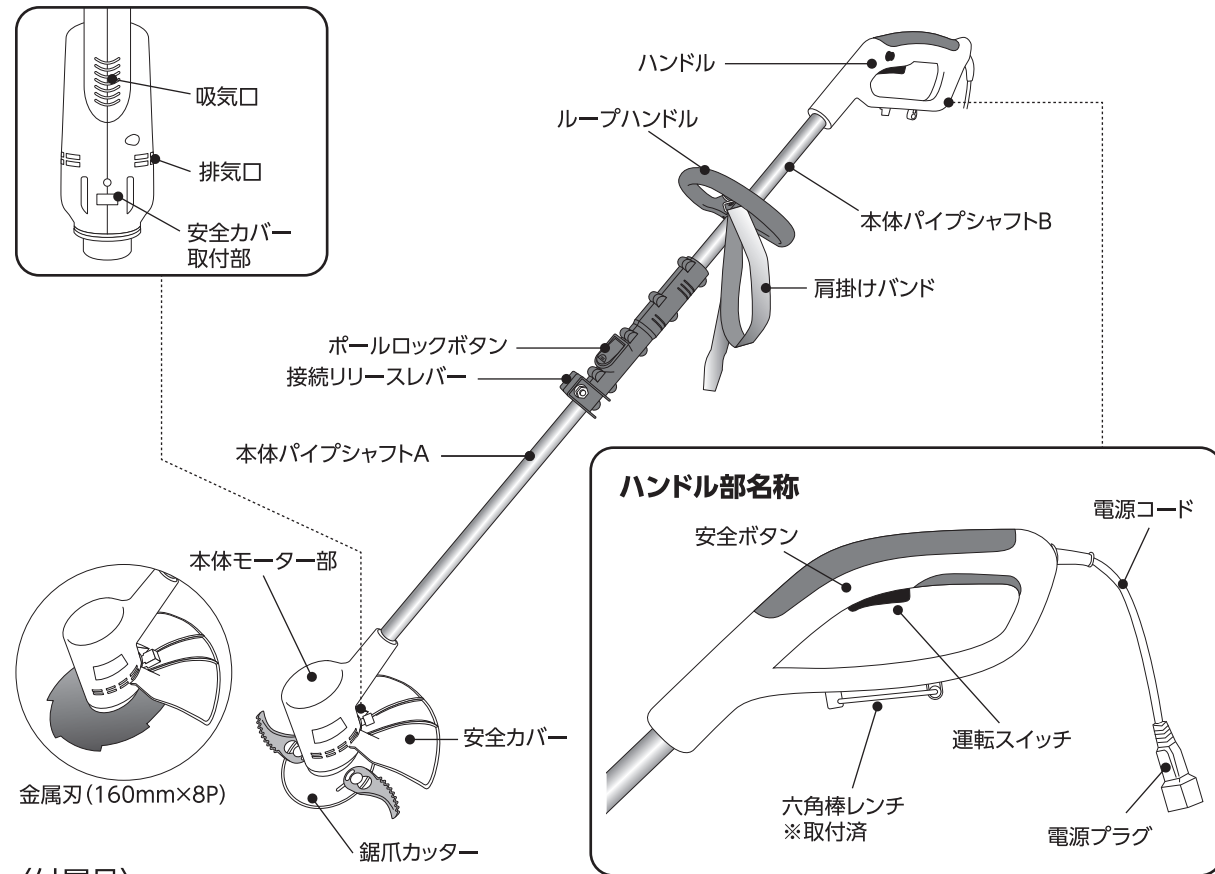
## 延長コードについて

- 付属の延長コードもしくは別売りの園芸用延長コード10M(ECT-S710)もしくは20M(ECT-S720)をご使用ください。市販のものを使用する場合は十分な太さで出来るだけ短いコードをご使用ください。
- コードの太さ(導体公称断面積)と最大長さの関係(参考)

コードの太さ(導体公称断面積)	延長コードの長さ
1.25mm <sup>2</sup>	15m
2.0mm <sup>2</sup>	20m

Ⓧ ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱などによる電圧降下を防止するため、コードはすべてドラムから引き出してご使用ください。

## 各部の名称と付属品



### 〈付属品〉

①安全カバー×1 	②蝶ネジ×1 	⑤ループハンドル×1 	⑤-1 蝶ネジ×2 	⑤-2 ナット×2 
※②③④は本体モーター部に取付済	③スプリングワッシャー×1 	⑥ボックスレンチ×1 	⑦六角棒レンチ×1 	⑧保護メガネ×1 
	④ワッシャー×1 	⑨肩掛けバンド×1 	※⑤-1・②はループハンドルに取付済	
⑩延長コード10m×1 VCT7A 2×0.75mm 	⑪コードストラップ×1 	⑫ベルトフック×1 	⑬取扱説明書(本書)×1 	
⑭金属刃 160mm×8P×1 (内径25.4mm) 	⑮鋸爪カッター×1 交換用鋸爪 ブレード ×4枚 	⑯ロールガイド×1 	⑰ナット保護ボス×1 	⑱座付ナット×1 
		※⑯⑰⑱は本機・モーター部に取付済		

## 組立方法

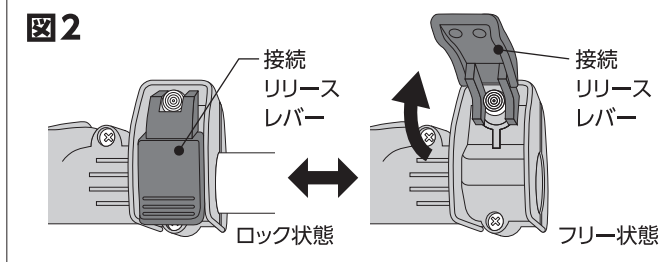
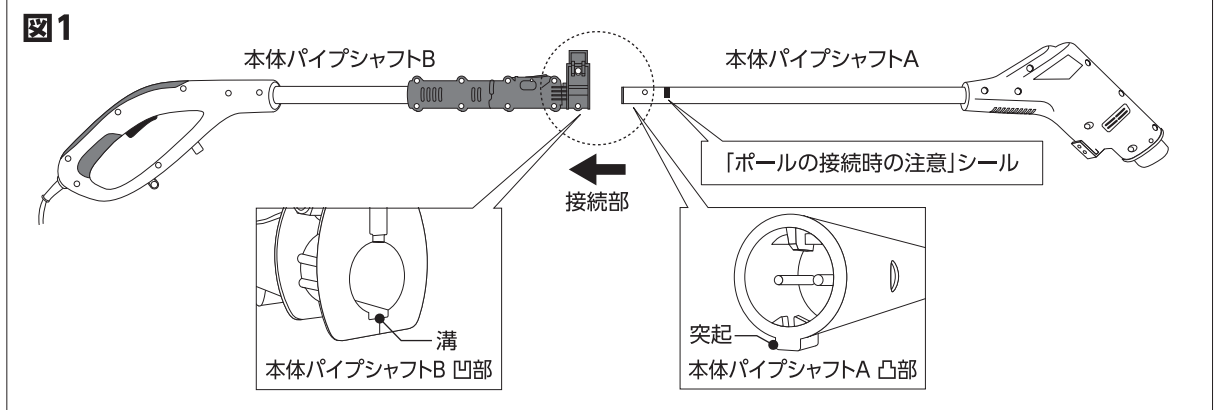
### 1 本体パイプシャフトの接続

#### 《接続方法》

- ①本体パイプシャフトB接続部の接続リリースレバーを上げてフリー状態にしてください。(図2)
- ②本体パイプシャフトAの接続部を、本体パイプシャフトBの接続部に差し込みます。差し込みの際は、本体パイプシャフトA・B接続部の凹凸部を合わせて、「ポールの接続時の注意」シールの赤いラインまで差し込んでください。(図1)

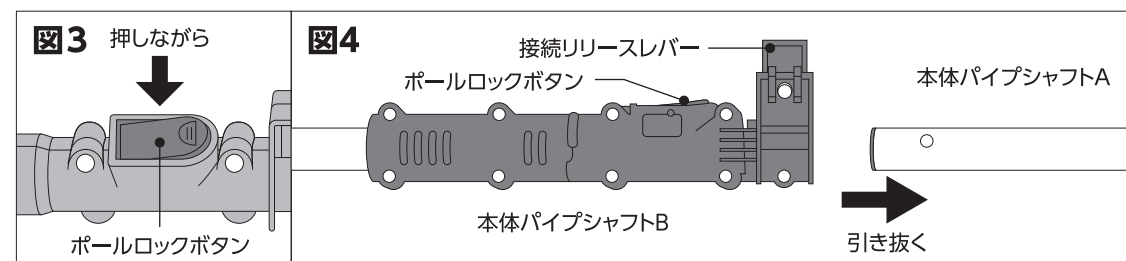
接続部が正しく接続されていない場合は、通電せず作動しません。使用中ポールが抜ける方向への力が加わり作動しなくなった場合は、再度ポールを赤いラインまで差し込んでご使用ください。

- ③本体パイプシャフトB接続部の接続リリースレバーを下げてロック状態にしてください。(図2)



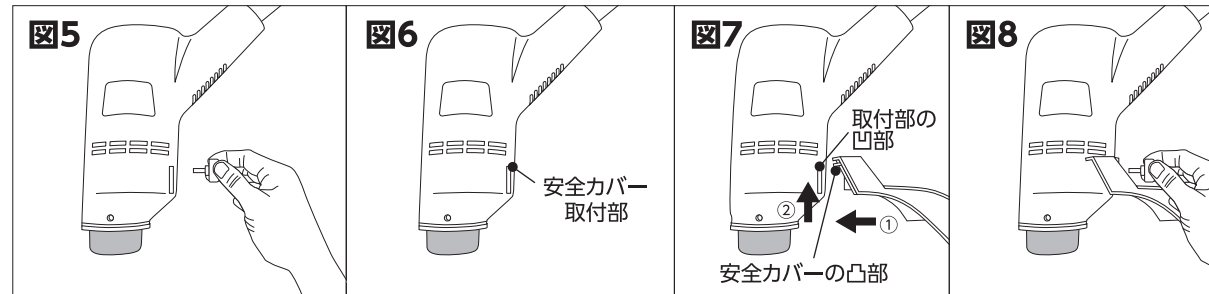
#### 《分割方法》

- ①本体パイプシャフトB接続部の接続リリースレバーを上げてフリー状態にしてください。(図2)
- ②本体パイプシャフトB接続部のポールロックボタンを押しながら、本体パイプシャフトAを引き抜いてください。(図3・4)



## 2 安全カバーの取り付け方

- ①本体モーター部についている、蝶ネジを左に回して(反時計回り)外してください。(図5・6)
- ②本体モーター部の凹部に安全カバーの凸部を合わせ下から上へスライドさせて取り付けてください。(図7)
- ③安全カバーを取り付けたら、蝶ネジにスプリングワッシャー・ワッシャーを取り付けて、蝶ネジを右に回して(時計回り)しっかりと固定してください。(図8)

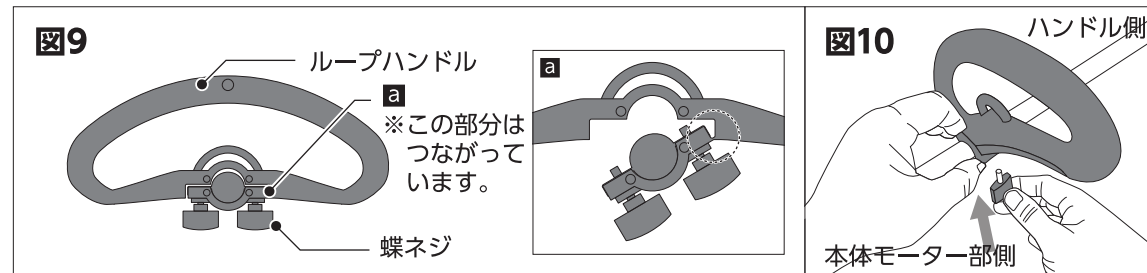


### ⚠ 注意

- 必ず安全カバーを取り付けて使用してください。
- 安全カバーを取り付けずに使用すると処理物や小石などが飛散して思わぬ事故の原因になります。

## 3 ループハンドルの取り付け方

- ①ループハンドルに付いている、蝶ネジ2本を左に回して(反時計回り)外してください。(図9)
  - ②ループハンドルを本体パイプシャフトに挟み、蝶ネジ2本を右に回して(時計回り)、使いやすい位置に固定してください。(図10)
- ④aの部分を通り、スジなどがはいることがありますが固定には問題ありません。
- ⑤肩掛けバンド取付部がハンドル側になるよう取り付けてください。

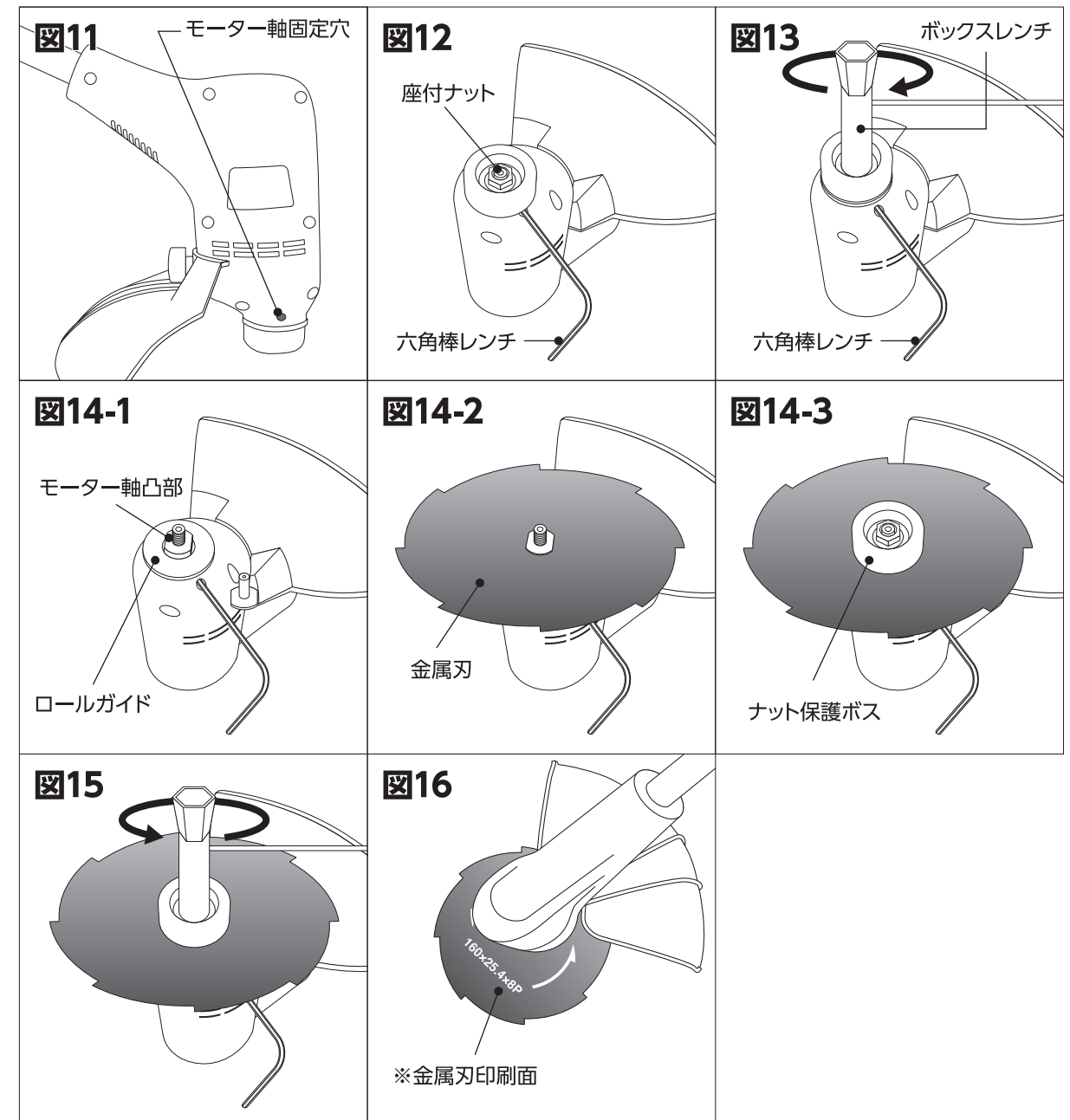


### ⚠ 注意

ループハンドルはガタ、ゆるみのないように確実に固定してください。

## 4 金属刃の取り付け方

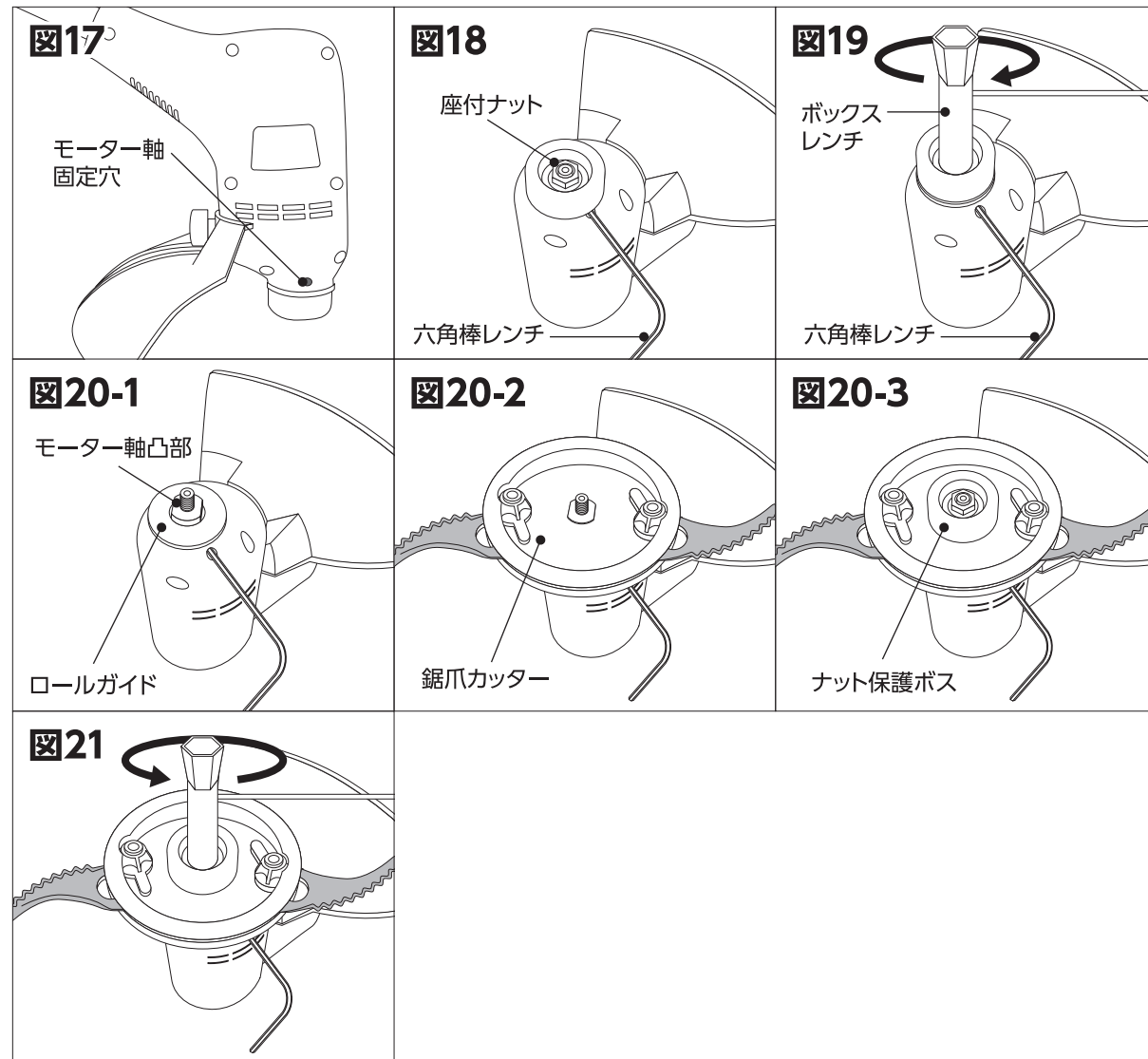
- ①本体モーター部にモーター軸固定穴があります。(反対側にもあります)(図11)
  - ②この穴に付属の六角棒レンチを軽く押し込みながら、ナット保護ボスをゆっくり回してください。(図12)  
モーター軸に穴が開いている箇所がありますので六角棒レンチでモーター軸が回らないように固定します。
  - ③座付ナットを付属のボックスレンチで右に回して(時計回り)、座付ナット・ナット保護ボスをはずします。(図13)
  - ④モーター軸凸部にロールガイド→金属刃→ナット保護ボス→座付ナットの順に取り付けます。(図14-1・2・3)
  - ⑤座付ナットをボックスレンチで左に回して(反時計回り)強く締めてください。(図15)
  - ⑥六角棒レンチをはずし、金属刃を手で軽く回して金属刃の取り付け穴がモーター軸凸部からずれていないことを確認してください。ずれている場合は、もう一度金属刃を取り付け直してください。
- ⑦金属刃をはずすときは、取り付け方と逆の手順で行います。
- ⑧定期的に座付ナットが緩んでないか点検してください。緩んでいたら増し締めしてください。
- ⑨金属刃の表裏に注意してください。刈り込み作業時印刷面が見えるように取り付けしてください。(図16)





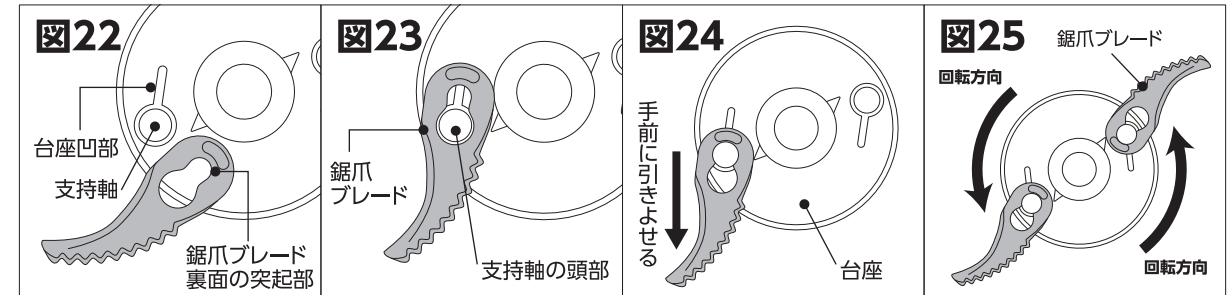
## 5 鋸爪カッターの取付け方

- ① 本体モーター部にモーター軸固定穴があります。(反対側にもあります) (図17)
  - ② この穴に付属の六角棒レンチを軽く押し込みながら、ナット保護ボスをゆっくり回してください。(図18)  
モーター軸に穴が開いている箇所がありますので六角棒レンチでモーター軸が回らないように固定します。
  - ③ 座付ナットを付属のボックスレンチで右に回して(時計回り)、座付ナット・ナット保護ボスをはずします。(図19)
  - ④ モーター軸凸部にロールガイド→鋸爪カッター→ナット保護ボス→座付ナットの順に取り付けます。(図20-1・2・3)
  - ⑤ 座付ナットをボックスレンチで左に回して(反時計回り)強く締めてください。(図21)
  - ⑥ 六角棒レンチをはずし、鋸爪カッターを手で軽く回して鋸爪カッターの取り付け穴がモーター軸凸部からずれていないことを確認してください。ずれている場合は、もう一度鋸爪カッターを取り付け直してください。
- ⑦ 鋸爪カッターをはずすときは、取り付け方と逆の手順で行います。  
⑧ 定期的に座付ナットが緩んでないか点検してください。緩んでいたら増し締めしてください。  
⑨ 鋸爪カッターの表裏に注意してください。  
⑩ モーター軸固定のために差し込んだ六角棒レンチは必ず抜き取ってください。モーター焼けの原因になります。

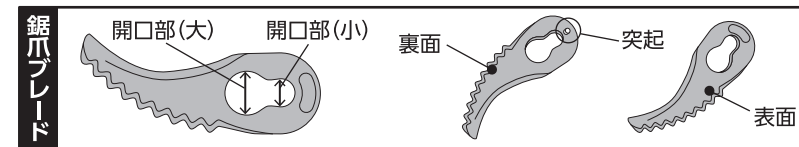


## 6 鋸爪カッターの鋸爪ブレードの交換方法(取付け、取外し方法)

- ① 鋸爪ブレードの開口部(大)を台座の支持軸に合わせてはめ込みます。鋸爪ブレード裏面の突起部が台座凹部にはまるように位置をあわせてください。(図22・図23)
  - ② 台座の支持軸に鋸爪ブレード開口部(小)がくるように、鋸爪ブレードを手前に引き寄せれば完了です。(図24)
- ③ 取り外しの際は、①～②の手順を逆におこなってください。  
④ 取り付けの際、回転方向と鋸爪ブレードの向きが(図25)のようになっているかを確認してください。



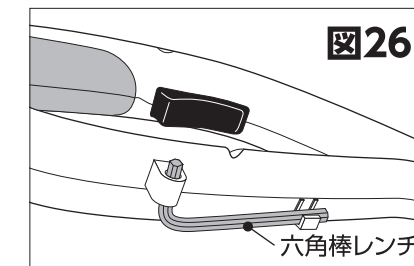
- ⑤ 支持軸は安全のため、作業中に障害物に当たると根元から外れる様に設計されています。当てない様に注意して作業してください。  
⑥ 鋸爪ブレードは、耐衝撃性に優れていますが、鋭角性のある障害物に当たると損傷しますので、当てないように注意して作業してください。  
⑦ 割れや欠け、変形している鋸爪ブレードは使用しないでください。本体の異常振動、本体の故障、思わぬ事故の原因となり大変危険です。



鋸爪ブレードは消耗品です。切れ味が悪くなったら交換してください。切れ味の悪い鋸爪ブレードや摩耗しすぎた鋸爪ブレードを使用されると機械に負担がかかり、故障の原因になります。

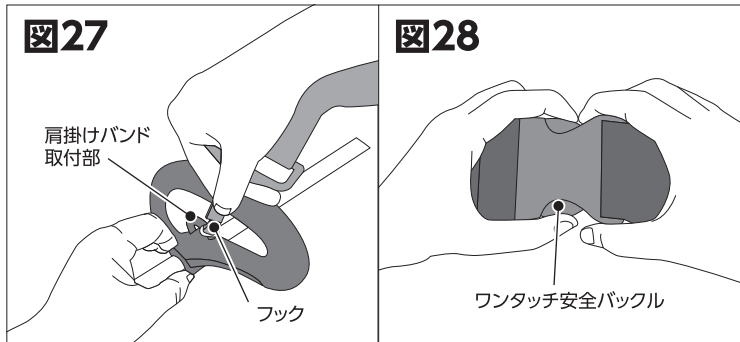
## 7 工具収納方法

使い終わった六角棒レンチはハンドル部に収納することができます。(図26)



## 8 肩掛けバンドの取り付け方・外し方

- ①肩掛けバンド取付部に肩掛けバンドのフックをしっかりと掛けてください。肩掛けバンドの長さは任意の位置および、長さに調節してお使いください。(図27)
- ②肩掛けバンドのフックはしっかりと掛けてください。しっかりと掛かっていないと作業中に外れるおそれがあり、大変危険です。
- ③緊急の時にはワンタッチ安全バックルを押して肩掛けバンドを外してください。(図28)



## 使用方法

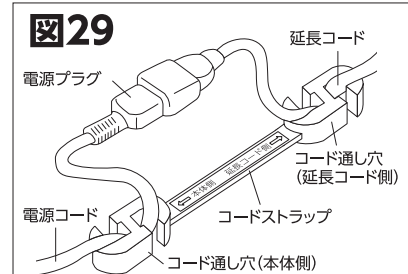


### 警告

電源プラグを延長コードに接続する時や延長コードを電源コンセントに差し込む前に、本機のスイッチが切れている事を確認してください。スイッチが入ったまま電源に接続すると不意に動き出し、重大な事故になるおそれがあります。また、使用後はスイッチが切れている事を確認して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

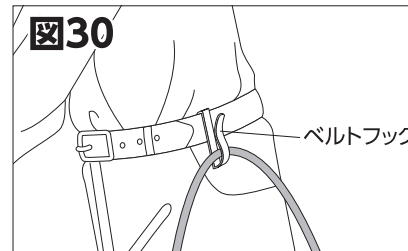
## 1 電源プラグの接続方法

電源プラグと延長コードを接続するときは付属のコードストラップのコード通し穴(本体側)に本体側の電源コードを、コード通し穴(延長コード側)に延長コードを通して接続部が簡単に抜けないようにセットしてください。(図29)



## 2 ご使用前の準備

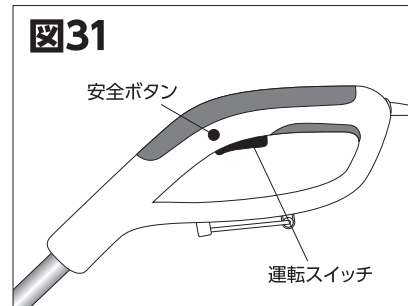
延長コードをベルトフックに掛けてご使用ください。足元のコードを気にすることなく作業できます。(図30)



## 3 運転スイッチ

始動させる際は安全ボタンを押しながら運転スイッチをしっかりと握ってください。始動後は安全ボタンを離して、運転スイッチのみでご使用ください。(図31)

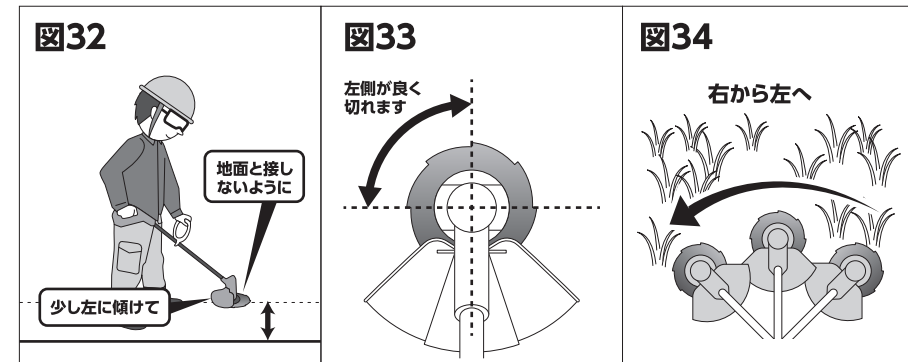
- ④周囲の安全を確認してからスイッチを入れてください。



## 刈り込み作業 (故障なく、長くご使用いただくために、下記の事にご注意ください。)

作業前に作業する場所の小石、空き缶、空き瓶等の障害物を取り除いてください。

- ①肩掛けバンドを使用し、本機を体の右側で持ってください。
- ②左手でループハンドル・右手でハンドルを握り、安定した姿勢で作業してください。(図32)
- ③ナット保護ボスを地面から浮かし、少し左に傾け、ブレード(刃)の左側で作業してください。(図32 図33)
- ④ブレード(刃)は反時計回りに回転しますので、左側が良く切れます。右から左に体の周りを回すように刈ってください。(図33 図34)
- ⑤草の密集した場所で押し付けるようにするとモーターの回転が落ち、機械に負担がかかり故障の原因になります。回転が落ちないように作業してください。
- ⑥足元が滑りやすい場所等では使用しないでください。

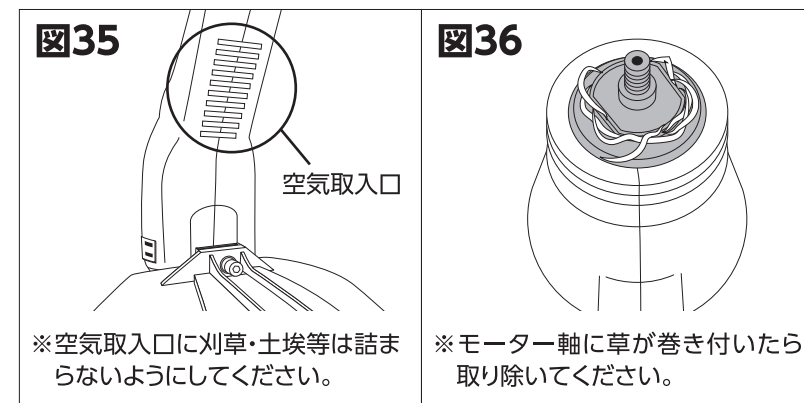


- ⑦モーター上部の空気取入口に刈草・土埃等が詰まらないよう、時々点検し、除去してください。

空気取入口が詰まった状態で使用するとモーター焼けの原因になります。(図35)

- ⑧安全の為に、定期的に座付ナットが緩んでいないか点検してください。緩んでいたら増し締めしてください。
- ⑨使用中に異常な振動があった場合は、ただちに作業を中止してください。
- ⑩草が巻き付いたら取り除いてください。回転が落ちたり、モーターが止まったりしてモーター焼けの原因になります。(図36)

- ④ ロールガイドは必ず取付けてください。外して使用されると草がモーターにからみモーター焼けの原因になります。
- ⑤ からんだ草を取り除く際は、必ず電源コードを抜いてください。



## 保守と点検

- 使用後は乾いた布で、油汚れや、汚れをよく拭き取ってください。
- 高温・多湿、雨の当たりやすい軒下などを避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 長時間の使用後、又は数回使用したあとはブレード(刃)やブレード(刃)取付部位の点検をおこなってください。傷んでいる場合には新しい物と交換してください。

## トラブルの原因と対策 (本製品は一般住居での草刈を目的にしていますので、 広範囲での使用は避けてください。)



### 警告

- 原因の調査や対策を講じられる場合は必ず本機のスイッチが切れていることを確認し、電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

症状	原因	対策
動かない	電源プラグが電源から抜けていませんか。	電源プラグを電源にしっかり差し込んでください。 又、電源コンセントに電気が流れているか確認してください。
	本体パイプシャフトは正しく接続がされていますか。	P4 組立方法 1 を参考に本体パイプシャフトを正しく接続してください。
	延長コードが切れたり、断線していませんか。	断線している場合は延長コードを交換してください。
	ブレード(刃)に異物が巻きついていませんか。	異物を取り除いてください。
	スイッチの接点不良	お買い求めの販売店、又は商品問合わせ先にお問い合わせください。
異音が出た	ブレード(刃)に異物が巻きついていませんか。	異物を取り除いてください。
	ブレード(刃)がカケたり、割れたりしていませんか。	P6~P8 組立方法 4 5 6 7 を参考に新しいブレード(刃)と交換してください。
	ブレード(刃)が間違っ取り付けられていませんか。	P6~P8 組立方法 4 5 6 7 を参考に新しいブレード(刃)と交換してください。
うまく草が刈れない	ブレード(刃)がカケたり、変形したりしていませんか。	P6~P8 組立方法 4 5 6 7 を参考に新しいブレード(刃)と交換してください。
	ブレード(刃)を逆に取り付けていませんか。	P6~P8 組立方法 4 5 6 7 を参考に新しいブレード(刃)と交換してください。
	刈り込むスピードが速すぎませんか。	本機が刈り込む速度に合わせゆっくり進んでください。
	モーターに負荷を掛け過ぎていませんか。	ブレード(刃)を強く押し付けず、モーターの回転を利用し徐々に刈進んでください。
	ブレード(刃)の寿命ではありませんか。	新しいブレード(刃)に交換してください。
煙が出た	モーターが焼き付いていませんか。	お買い求めの販売店、又は商品問合わせ先にお問い合わせください。

## MEMO

**MEMO**

Lined writing area for page 13, featuring 20 horizontal dashed lines.

**MEMO**

Lined writing area for page 14, featuring 20 horizontal dashed lines.